



# ナシ特報

No. 5

平成 30 年 5 月 25 日  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市ナシ部会

ナシの生育は、昨年よりも 10 日程早い状況です。結実は、やや不足しているため各園地の状況を確認して摘果作業を進めてください。結実後（5 月）も高温が続き、カメムシ類の被害が発生しています。毎年被害が大きい園では特別散布等の対策を講じてください。今回の薬剤散布は梅雨入り前の重要な防除です。予防効果を基本としていますので、雨が続く前に散布を完了するように徹底してください。

## ◆ 和梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

◇ 6 月上旬の薬剤散布（前回から 15 日後）

散布時期：6/5～10 頃 *注意事項④、⑤参照	散布日：6 月 日
散布薬剤	散布量： リットル
水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
劇剤 ダーズバン DF	3 3 g（30 日前、3 回）
アントラコール顆粒水和剤	2 0 0 g（45 日前、4 回）
対象病害虫：黒班病、黒星病	
シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量：10 a 当たり 400 リットル	

～ 注意事項 ～ \*必ずお読みください。

- ① 袋掛け前の防除とする。尚、散布後 1 週間以上を経過した場合は、キノンドーフロアブル 1,000 倍（3 日前、9 回）を特別散布し、袋掛けを行う。
- ② 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。
- ③ ダーズバン DF は、医薬用外劇物です。購入の際は、印鑑を持参してください。
- ④ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。
- ⑤ カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル 1,000 倍（30 日前、2 回）を**加用する**。
- ⑥ カメムシ類対策：アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍（前日、3 回）を**加用する**。

次回（6 月中下旬）の散布予定

- ◆ 有袋：6/20～25（前回 15 日後）
- ◆ 無袋：6/15～20（前回 10 日後）

◆ 西洋梨の定期防除は次頁をご覧ください。

**西洋梨の定期防除** (収穫中の作物への飛散に十分注意してください。)

☆ 6月上旬の薬剤散布 (前回から15日後)

散布日：6月 日  
 散布量： リットル

散布時期	6/5～10頃 *注意事項⑤参照
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 10ml (劇) ダーズバンDF 33g (30日前、3回) *注意事項④、⑤参照 オキシラン水和剤 200g (3日前、9回) *注意事項⑥参照
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ
散布量	10a 当り 500 リットル
注意事項	① 袋かけ前の防除とする。尚、散布後1週間以上を経過した場合は、オキシラン水和剤500倍(3日前、9回)を特別散布し、袋かけを行なう。 ② 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。 ③ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。 ④ <b>ダーズバンDFは医薬用外劇物です。購入の際は印鑑を持参してください。</b> ⑤ カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル1000倍(30日前、2回)を加用する。 ⑥ カメムシ類対策：アルバリン顆粒水溶剤の2,000倍(前日、3回)を <b>加用する</b> 。 ⑦ 有機銅成分を含む薬剤(オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等)の <b>使用回数は合計で9回以内</b> です。



次回(6月中下旬)の散布予定  
 ◆ 6/20～25 (前回15日後)

◆ 和梨・西洋梨の仕上げ摘果のポイントはナシ部会特報 No3 をお読みください。